

作 業 環 境 調 査

表 1 年度別の調査実施事業場数・単位作業場所数・測定数

区 分	調査事業場延数	単位作業場所延数	測 定 延 数	調査結果 報 告 会
18年度	285	1 483	14 709	3
17年度	317	1 431	14 437	5
16年度	304	1 481	15 410	4

表 2 有害要因別の事業場数・単位作業場所数・測定数

項 目	事 業 場 数		単 位 作業場所 延 数	測 定 数		
	1) 実 数	2) 延 数		2) 延 数	1 事業所 当り	1 単位作業 場所当り
総 数	151	285	1 483	14 709	—	—
粉 じ ん	50	92	354	3 651	39.7	10.3
有機溶剤	84	159	658	4 146	26.1	6.3
特定化学物質	23	41	95	568	13.9	6.0
金属（鉛）等	14	24	51	337	14.0	6.6
その他の	10	19	87	1 217	64.1	14.0
小 計	181	335	1 245	9 919	29.6	8.0
騒 音	26	42	238	2 696	64.2	11.3
事務所測定	18	45	—	544	12.1	—
その他(気中濃度)	40	60	—	356	—	—
(個人暴露)	14	27	—	222	—	—
(物理的要因)	23	44	—	748	—	—
(局排開口面風速)	13	14	—	224	—	—
小 計	134	232	218	4 790	—	—

1) 同一事業場で二項目以上の調査を実施した場合、それぞれ計上し加算したので実際の事業場数より多い

2) 同一事業場で二項目以上の調査を二回以上行った場合、項目ごとに延数で計上し加算した

表 3 業種・規模別の調査実施事業場数

規 模	総計	建設業	食品製造業	関連・印刷・同業	化学工業	石油製品・石炭製品製造業	ゴム製品製造業	窯業・土石製品業	鉄鋼業	金属製品製造業	製造業	電気機械器具製造業	輸送用機械器具製造業	精密機械器具製造業	その他の製造業	水道業	医療業	保健及び廃棄物処理業	教育機関	学術研究機関	サービス・その他
総 数	151	3	15	3	9	2	1	8	2	11	20	10	4	2	9	3	8	9	11	11	10
50 人 未 満	56	3	4	2	4			3		5	6	1	1		4	3	1	7	5	2	5
50 ～ 99人	31		3	1	2	1		1		3	1	2	2		2		1	2	7	3	
100～199人	26		4		2		1	1	1	1	5	2		1	1		3		2	1	1
200～299人	8		2			1						1		1	1					1	1
300～499人	14		2		1				1	1		1	3	1				2	1		
500～999人	10									2	5				1		2				
1000人以上	6							2			2	1							1		

表 4 有害要因別の作業環境管理区分の内訳

有害要因	A測定区分				B測定区分				作 業 環 境 管 理 区 分				
	1	2	3	計	1	2	3	計	1	2	3	計	
総 数	1 296	138	49	1 483	1 161	102	127	1 390	1 192	80	148	10	1 430
粉 じ ん	335	16	3	354	317	3	9	329	330 (93.2)	13 (3.7)	11 (3.1)		354
有機溶剤(単一)	328	9	2	339	326	3	2	331	326 (96.2)	9 (2.7)	4 (1.2)		339
有機溶剤(混合)	285	28	6	319	288	10	12	310	280 (87.8)	24 (7.5)	15 (4.7)		319
特定化学物質	93	2	0	95	73	0	2	75	91 (95.8)	2 (2.1)	2 (2.1)		95
金 属 (鉛) 等	47	3	1	51	40	2	3	45	44 (86.3)	4 (7.8)	3 (5.9)		51
その他の有害物	70	3	14	87	70	1	16	87	69 (79.3)	1 (1.1)	17 (19.5)		87
騒 音	138	77	23	238	47	83	83	213	52 (21.8)	95 (39.9)	91 (38.2)		238

※()内は%

表 5－1 有害要因別の測定数、単位作業場所数及び作業環境管理区分(法定)

有害要因	物 質 名	測定数	単 位 作業場所 数	評価を行 った単位 作業場所 数	管 理 区 分		
					1	2	3
粉 じ ん	鉱物性粉じん	1 753	179	179	167	9	3
	遊離けい酸含有率	106					
	小 計	1 859	179	179	167	9	3
有 機 溶 剤	単一有機溶剤	2 090	335	335	322	9	4
	アセトン	457	74	74	73	1	0
	イソプロピルアルコール	203	33	33	33	0	0
	エチルエーテル	130	21	21	20	1	0
	エチレングリコールモノエチルエーテルアセテート	7	1	1	1	0	0
	キシレン	128	20	20	20	0	0
	クロロホルム	136	21	21	19	2	0
	酢酸エチル	44	7	7	7	0	0
	酢酸ノルマルブチル	31	5	5	5	0	0
	ジクロロメタン	145	24	24	22	1	1
	N,N-ジメチルホルムアミド	18	3	3	3	0	0
	テトラクロルエチレン	36	6	6	5	1	0
	テトラヒドロフラン	48	8	8	8	0	0
	トルエン	102	16	16	13	2	1
	二硫化炭素	12	2	2	2	0	0
	ノルマルヘキサン	122	20	20	20	0	0
	シクロヘキサノン	12	2	2	2	0	0
	1-ブタノール	14	2	2	2	0	0
	メタノール	414	65	65	63	1	1
	メチルエチルケトン	31	5	5	4	0	1
	混合有機溶剤	2 020	317	317	278	24	15
	小 計	4 110	652	652	600	33	19
特定化学物質	アクリルアミド	6	1	1	1	0	0
	エチレンオキシド	96	15	15	15	0	0
	塩素	24	4	4	4	0	0
	塩素化ビフェニル	5	1	1	1	0	0
	シアン化水素	54	9	9	9	0	0
	3,3'-ジクロロ-4,4'-ジアミノジフェニルメタン	20	4	4	3	1	0
	ニトログリコール	12	2	2	2	0	0
	弗化水素	156	25	25	25	0	0
	ベンゼン	14	2	2	2	0	0
	石棉	12	2	2	2	0	0
	小 計	399	65	65	64	1	0
金 属（鉛）等	カドミウム	12	12	2	2	0	0
	クロム酸	75	75	11	10	1	0
	水銀	47	47	7	6	1	0
	鉛	84	84	12	7	2	3
	マンガン	48	48	8	8	0	0
	小 計	266	266	40	33	4	3
ダイオキシン類		※1 038	60	60	51	0	9
総 計		7 672	1 222	996	915	47	34

※相対濃度計によるA, B測定点数

表 5－2 有害要因別の測定数、単位作業場所数及び作業環境管理区分(自主)

有害要因	物 質 名	測定数	単 位 作業場所 数	評価を行 った単位 作業場所 数	管 理 区 分		
					1	2	3
粉 じ ん	粉じん	1 898	175	175	163	4	8
	小 計	1 898	175	175	163	4	8
有 機 溶 剤	単一有機溶剤	24	4	4	4	0	0
	トルエン(5%以下)	24	4	4	4	0	0
	混合有機溶剤(5%以下)	12	2	2	2	0	0
	小 計	36	6	6	6	0	0
特定化学物質	二酸化硫黄	6	1	1	1	0	0
	ホルムアルデヒド	60	12	12	9	1	2
	硝酸	54	8	8	8	0	0
	硫酸	49	9	9	9	0	0
	小 計	169	30	30	27	1	2
金 属（鉛）等	鉛	71	71	11	11	0	0
	小 計	71	71	11	11	0	0
そ の 他 の 有 害 物 質	アセトニトリル	69	11	11	10	1	0
	インジウム	48	8	8	0	0	8
	オイルミスト	38	4	4	4	0	0
	プロモホルム	12	2	2	2	0	0
	メチレンビスフェノールイソシアネート	12	2	2	2	0	0
	小 計	179	27	27	18	1	8
総 計		2 353	309	249	225	6	18

表6 作業環境管理区分の過去3カ年の推移

有害要因	作業環境管理区分											
	16年度				17年度				18年度			
	1	2	3	計	1	2	3	計	1	2	3	計
総数	1 178 (79.5)	145 (9.8)	158 (10.7)	1 481	1 139 (79.6)	141 (9.9)	151 (10.6)	1 431	1 192 (80.4)	148 (10.0)	143 (9.6)	1 483
粉じん	354 (92.2)	21 (5.5)	9 (2.3)	384	326 (91.1)	25 (7.0)	7 (2.0)	358	330 (93.2)	13 (3.7)	11 (3.1)	354
有機溶剤	566 (95.3)	20 (3.4)	8 (1.3)	594	581 (92.8)	33 (5.3)	12 (1.9)	626	606 (92.1)	33 (5.0)	19 (2.9)	658
特定化学物質	91 (84.3)	8 (7.4)	9 (8.3)	108	81 (90.0)	4 (4.4)	5 (5.6)	90	91 (95.8)	2 (2.1)	2 (2.1)	95
金属（鉛）等	57 (93.4)	3 (4.9)	1 (1.6)	61	48 (90.6)	3 (5.7)	2 (3.8)	53	44 (86.3)	4 (7.8)	3 (5.9)	51
その他の有害物質	67 (72.0)	4 (4.3)	22 (23.7)	93	64 (74.4)	3 (3.5)	19 (22.1)	86	69 (79.3)	1 (1.1)	17 (19.5)	87
騒音	43 (17.8)	89 (36.9)	109 (45.2)	241	39 (17.9)	73 (33.5)	106 (48.6)	218	52 (21.8)	95 (39.9)	91 (38.2)	238

※（ ）内は%

表7 調査結果に基づく改善指導の状況

作業 の 区分	改 善 指 導 の 内 容		改善指導事業場数	
			実 数	%
有 害 物 質	生産技術的対策	代替・使用制限	2	1
		生産工程・作業方法の改善	13	6
	環境技術的対策	設備の密閉化・湿式化	20	9
		局所排気装置（設置・改良）	40	19
		全体換気装置（設置・改良）	10	5
		汚染防止設備の保守管理	26	12
	作業管理対策	作業行動の改善	31	15
		保護具	45	21
そ の 他 の 対 策		26	12	
合 計		213	100	
騒 音	騒音発生源・伝 ば 経 路 対 策	発生源の低騒音化	29	9
		設備・工程等の改善	41	12
		遮音対策	34	10
	受 音 者 対 策	保護具	147	44
		管理区分・保護具着用の掲示	26	8
		衛生教育	48	14
	そ の 他 の 対 策		9	3
	合 計		334	100
総 合		547		

※第2,第3管理区分のみ記載